

2007年(平成19年)12月28日(金曜日) JOMO TAKATAI (9)

# 何を願う？

## お参りの仕方紹介

### 寺院

#### 山門をくぐる前に

寺院に山門がある場合は山門をくぐる前に、ない場合も門柱の手前でまず威儀(作法にかなったふるまい、態度)を正しましょう。これから参拝するという心構えを持ち、身も心も整えることが大事です。帽子をかぶっている人は、ここで脱ぎます。

#### 寺院の基本的な参拝方法

①山門に入ったら、本堂に向かって拝礼します(45度ぐらい頭を下げる)。【写真①】

②手水舎があれば手を洗い、口をすすいで、身を清めます。まず右手でひしゃくを持ち、

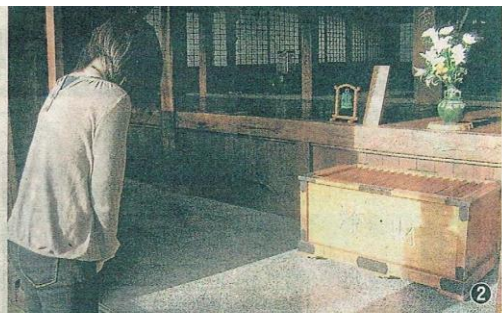
左手を洗います。次にひしゃくを左手に持ち替えて右手を洗います。両手を洗い終わったら再びひしゃくを右手に持ち直し、左手に水を取り、その受けた水で口をすすぎます。このとき、ひしゃくの水を口で直接受けてはいけません。最後に、再度左手を洗い清め、ひしゃくを立てて柄に水を流し清めてからひしゃくを戻します。

これらの作業を1杯の水ですべて行います。(山門の外に手水舎がある場合は、先に身を清めます)

③本堂さい銭箱の前で、まずは拝礼します。鐘があれば鐘をつきましょう。ろうそくや線香があれば、それをあげます。(さい



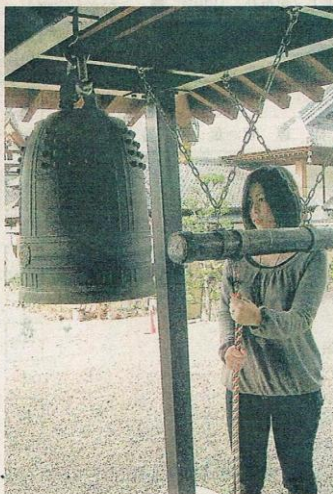
①



②



③



鐘楼が一般開放されている寺院では梵鐘を鳴らすことができる。ゆっくり引いて、優しく打ち鳴らす。(仁叟寺でも鐘楼堂の梵鐘以外は鳴らすことができます)

銭箱より先にろうそくや線香がある場合は、その順番で行います)【写真④】

④さい銭を投げ、ご本尊に向かって静かに合掌して祈ります。

祈るときは左右の手をきちんと

とそろえるように合わせます。寺院での礼拝は拍手は打ちません。【写真⑤】

⑤祈りを終え、さい銭箱の前から退出する前に拝礼します。

⑥山門から出るときには本堂に向かって拝礼をします。

#### 参拝の心構え

▷寺院を参拝するときは、一般の観光地とは違い、祈りの場であるという意識を忘れないように。身を整え、短パンやタンクトップといった軽装は控えましょう。

▷ペットを連れてお参りにくる方も多いようですが、本堂の中に入れることは遠慮してください。周りの方の迷惑になるときもあります。格式の高い寺院では境内にも入れないところが

あります。

▷ご本尊にお祈りするときには漫然と手を合わせるのではなく、「このことをお願いしたい」と強い気持ちを持ってお祈りしてほしいと思います。ご本尊を真正面から見て、まっすぐ背筋を伸ばし、気持ちを一つにしてしっかりと手を合わせましょう。

また来られると思って漫然とお参りしても、明日があるという保証はありません。お参りに来ることができたのも生涯一遍のこと。一緒に行ってくれる人、機会、状況が巡り合えてお参りすることができたのです。願いことをしっかりと心に念じて、お参りしてください。

仁叟寺では31日に除夜会二年参りを、1月1-3日に初参りをそれぞれ行い、参拝者に甘酒やお茶などが振る舞われます。例年、この4日間でおよそ5000人が訪れ、新年の無病息災、家内安全などを祈

願しているそうです。このほか、節分会(2月3日)、花祭り(4月8日)、座禅会(毎週水曜午後7-8時)など、年間を通して行事を行い、参拝者を迎え入れています。

## 何を願う？ お参りの仕方紹介

### 寺院

#### ・山門をくぐる前に

寺院に山門がある場合には山門をくぐる前に、ない場合も門柱の手前でまず威儀(礼法

にかなったふるまい、態度)を正しましょう。これから参拝するという心構えを持ち、身も心も整えることが大事です。帽子をかぶっている人は、ここで脱ぎます。

### ・寺院の基本的な参拝方法

1. 山門に入ったら、本堂に向かって拝礼します。

2. 手水舎があれば手を洗い、口をすすいで、身を清めます。

まず、右手でひしゃくを持ち、左手を洗います。次にひしゃくを右手に持ち直し、左手に水を取り、その受けた水で口をすすぎます。このとき、ひしゃくの水を直接口で受けてはいけません。最後に、再度左手を洗い清め、ひしゃくを立てて柄に水を流し清めてからひしゃくを戻します。

これらの作業を1杯の水ですべて行います。(山門の外に手水舎がある場合は、先に身を清めます)

3. 本堂さい銭箱の前で、まずは拝礼します。鐘があれば鐘をつきましょう。ろうそくや線香があれば、それをあげます。(さい銭箱より先にろうそくや線香がある場合は、その順番で行います)

4. さい銭を投げ、ご本尊に向かって静かに合掌して祈ります。

祈るときは左右の手をきちんとそろえるように合わせます。

寺院での礼拝は柏手は打ちません。

5. 祈りを終え、さい銭箱の前から退出する前に拝礼します。

6. 山門から出るときには本堂に向かって拝礼をします。

### ・参拝の心構え

△寺院を参拝するときは、一般の観光地とは違い、祈りの場であるという意識を忘れないように。身を整え、短パンやタンクトップといった軽装は控えましょう。

△ペットを連れてお参りにくる方も多いようですが、本堂の中に入れることは遠慮してください。周りの方の迷惑になるときもあります。格式の高い寺院では境内にも入れないところがあります。

△ご本尊にお祈りするときは漫然と手を合わせるのではなく、「このことをお願いしたい」と強い気持ちを持ってお祈りしてほしいと思います。ご本尊を真正面から見て、まっすぐ背筋を伸ばし、気持ちを一つにしてしっかりと手を合わせましょう。

また来られると思って漫然とお参りしても、明日があるという保証はありません。お参りに来ることができたのも生涯一遍のこと。一緒に行ってくれる人、機会、状況が巡り合えてお参りすることができたのです。願いごとをしっかりと心に念じて、お参りしてください。